

いまかけがいのない環境と  
ヒトとの絆を守る。

大気、水、土などからなる環境はわたしたちを育む大切な生命の源です。  
しかし、健康を脅かすリスクも含まれていて、ときとしてわたしたちに襲いかかってくる。  
たとえば精神発達障害、糖尿病、アレルギー、発がんなどといった不安も実は例外ではありません。  
このリスクの解明に基礎生物学と環境科学の両分野で取り組んでいます。



埼玉大学・国立環境研究所共催シンポジウム

# 我々を取り巻く環境と健康

～環境科学と基礎生物学の最近の研究動向～

環境中には健康に悪影響を及ぼす疑いがある化学物質が含まれています。子どもは大人に比べて、化学物質の影響を受けやすいと考えられ、子どもの健康に対する社会的関心が高まっています。このシンポジウムでは、環境がヒトの健康におよぼす影響を調べる環境科学の研究者と生命の仕組みを明らかにする基礎生物学の研究者が健康をテーマに最近の研究をわかりやすく解説します。

# 2012 12.22 (土)

## 13:00～16:15 (開場 12:30)

**会場** 埼玉会館小ホール(浦和駅西口下車徒歩6分)

**対象** 一般社会人・学生の皆さん(参加費無料)

### 会場(埼玉会館)へのアクセス

- JR浦和駅(西口)下車 駅前通り直進 徒歩6分
  - JR上野駅から高崎線・宇都宮線で約20分、京浜東北線で約35分
  - JR大宮駅から京浜東北線で約8分
- ※駐車台数に限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。  
※障害者手帳をお持ちの方は、入庫時にご提示いただくと駐車料金は免除されます(ご本人による提示が必要です)。



埼玉会館 〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4  
TEL:048-829-2471(代) FAX:048-829-2477

### 基調講演 13:10～13:40

「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」の目指すもの

座長:永澤 明(埼玉大学 理工学研究科長)

講演者:新田裕史(国立環境研究所 環境健康研究センター センター長)

### 特別講演 13:40～14:10

摂食行動を規定する弓状核—室傍核軸の環境応答:食事、ストレス、薬剤

座長:坂井貴文(埼玉大学 理学部長)

講演者:矢田俊彦(自治医大 医学部 生理学部門 教授)

### シンポジウム 14:25～

座長:小林哲也(埼玉大学 教授)・野原恵子(国立環境研究所 室長)

講演者:坂井貴文(埼玉大学 理学部長)

弥益 恭(埼玉大学 脳科学融合研究センター センター長)

前川文彦(国立環境研究所 環境健康研究センター 主任研究員)

青木康展(国立環境研究所 環境リスク研究センター 副センター長)

### お申し込み・お問い合わせ先

埼玉大学 理学部 生体制御学科 調節生理学研究室

TEL・FAX 048-858-3418

●電話お申し込み受付時間  
平日10:00～17:00(12:00～13:00は除く)

E-mail: [sympo1222@gr.saitama-u.ac.jp](mailto:sympo1222@gr.saitama-u.ac.jp)

上記の電話、FAXもしくはE-mailにてお申し込みください。FAXまたはE-mailでお申し込みの方は、氏名(ふりがな)、連絡先(電話番号またはE-mail)を明記してください。法人・団体の方は法人名・団体名、学生の方は学校名・学年を追記の上、お申し込みください。ただしFAXの場合は、お申し込み確認の返信は致しませんので予めご了承ください。尚、記載いただいた個人情報は、本講演実施に関わる業務以外では使用いたしません。